



2012年7月4日 第2012-39号

【発行】J A M

【発行責任者】宮本 礼一

【編集】産業政策グループ

03-3451-2425

E-MAIL: seisaku.seiji@jam-union.jp

経済産業省が経済社会ビジョン報告書を公表

## 価格競争から価値創造へ産業構造の転換を提言

産業構想審議会経済社会ビジョン報告「成熟」と「多様性」を力に

6月経済産業省がまとめた報告書では、現状を賃下げ・値下げの「やせ我慢」の経済と表現し、閉塞感を強調しています。加えて、就労構造の行き詰まりとして「終身雇用・正社員・男性中心」の就労モデルの限界を指摘しています。豊かさを実感できる成長には、付加価値の創出・拡大に転換するしか将来は見通せないとしています。

報告書とJAMものづくり進化論 との比較では、表現の違いはあるが、認識として共通する部分も多く、提言した内容が類似している所が多数見受けられます。

とくに、企業の体質改善、自立を基本として捉えているなど、企業の潜在力に期待しています。

### [特徴点の比較]

#### JAMものづくり進化論

##### 1、創造性と個性の進化

- 中小企業と基盤技術の振興
- 製造業から創造業への転換
- 知恵をかたちにする技術・技能の維持・向上

##### 2、ものづくり人材の育成と労働力確保

- 少子高齢化社会におけるものづくり労働者の確保
- 個性・実習重視のものづくり教育の実現
- 企業・産業が協力してつくる、ものづくり重視の仕組みづくり

#### 経済社会ビジョン報告書

##### 経済成長ビジョン

価格競争から価値創造競争へ

海外の成長の果実の取り込み

多様な稼ぎ頭の「八ヶ岳」構造へ

##### 人を活かす社会ビジョン

多様性によるイノベーションの創出

価値創造人材の育成環境作り

多様な人材の能力最大限発揮

JAMの進化論では、経営者の潜在力を強化することを提言 報告書では、経営トップの強い関与による多様性の経営の推進

業種にとらわれない地域連携をサポートする人材の育成 価値を生み出す新事業を白地から描く「イノベーション人材」の育成

現代の名工等の人材をプロデュースする仕組み作りで企業に付加価値をつける 「多様な人的資本の活用」を進めようとする「課題対応型サービス産業」を新たな産業の柱として育成

報告書の詳細はホームページでご覧いただけます。

<http://www.meti.go.jp/press/2012/06/20120615005/20120615005.html>